

令和3年度スポーツ庁委託事業 報告会資料（徳島県）

徳島県未来創生文化部ダイバーシティ推進課

(1) 地域が有する課題の状況

(2) 事業実施の目的、基本的事項

(3) 事業内容

(4) まとめ（課題、今後の取組み予定）

(1) 地域が有する課題の状況

① 主な課題

- ・市町村に障がい者スポーツ担当課無し
- ・競技団体の活動地域や、総合型地域スポーツクラブの所在地の偏り
- ・地域障がい者スポーツ団体メンバーの高齢化・減少で継続性に懸念
- ・これまで障がい者スポーツに関心が薄い方へのアプローチ

② 応募の経緯

さらに障がい者スポーツが地域に根ざすため、

- ・課題やニーズの洗い出し
- ・関係機関との連携強化
- ・オリパラ・オリパラ後を見据えた共生社会の実現
- ・当該事業と県新規事業との連携による効果検証

などを目的に応募

(2) 事業実施の目的、基本的事項

① 解決すべき課題への方向性

- ・ 障がい者スポーツの関心（する人・支える人）醸成
- ・ 連続性の確保
- ・ 身近な地域で実施できる環境の整備

② 事業実施体制

- ・ 4本の事業を実施（再委託先等）
 - 県教育委員会特別支援教育課
 - 徳島県障がい者スポーツ協会
 - 公益財団法人徳島県スポーツ協会（総合型地域スポーツクラブ：指定管理者）
 - 岡田企画株式会社（スポーツクラブ・フィットネス運営、障がい者スポーツ施設：指定管理者）

③ 実行委員会の人数、構成

- ・ 人数：11名
- ・ 構成
 - 学識経験者：徳島大学大学院教授、徳島文理大学教授
 - 障がい者団体：徳島県身体障害者連合会、徳島県手をつなぐ育成会
 - スポーツ関係団体：徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、徳島県スポーツ協会
徳島県障がい者スポーツ協会
 - 行政機関（徳島県）：未来創生文化部スポーツ振興課、未来創生文化部ダイバーシティ推進課
教育委員会特別支援教育課、教育委員会体育学校安全課

(3) 事業内容

障がい者スポーツ理解促進事業及び生涯スポーツ支援事業

目的：ICTを活用した体験イベントを通じた障がい者スポーツの普及・理解促進
障がい者スポーツ団体の周知による生涯スポーツ促進

○障がい者スポーツ体験イベントの開催

日時：令和4年1月23日（日） 午前10時から午後4時
場所：徳島県立障がい者交流プラザ 体育館
内容：オンライン・オフラインを活用したイベント実施
講演会（パラリンピアンを支えた徳島人）
体験会（ポッチャ、緩急走、eスポーツ）
全国障がい者施設等対抗「ぶよぶよ選手権」

リアルと
オンラインの
融合イベント



○障がい者スポーツ団体の実態調査

地域で活動する障がい者スポーツ団体の活動内容や課題等の実態を把握するためのアンケート調査を実施

○障がい者スポーツ団体の広報

障がい者スポーツ団体を周知するためのパンフレット・動画を作成し、特別支援学校の児童生徒等に配布



担当 徳島県障がい者スポーツ協会

(3) 事業内容

特別支援学校とスポーツ関係機関との連携による継続的なスポーツ参加促進モデル構築事業

目的：特別支援学校の児童生徒の基礎的な体力づくりや教員の指導力向上
スポーツ活動による地域交流の促進

○特別支援学校でのスポーツスキルアップ

事業内容：特別支援学校へトレーナーを派遣し、児童生徒の基礎的な体力づくりや教員の指導力向上を図る

実施校：5校

時間：各校5時間程度

内容：バスケットボール、卓球、水泳、ストレッチ等

○特別支援学校でのオンラインスポーツ体験会

事業内容：モデル校1校を選定し、オンラインによるヨガレッスンを実施

新しい形での活動の継続

○特別支援学校在校生等の総合型体験ツアー

事業内容：モデル校1校を選定し、近隣の総合型地域スポーツクラブでモニターツアーを実施

- ・学校卒業後の利用促進
- ・障がい者の受入促進



担当 特別支援教育課

(3) 事業内容

総合型地域スポーツクラブ共生社会創出事業

目的

総合型地域スポーツクラブにおいて、障がいのある人とない人がスポーツ活動を通じて共に楽しむことができる環境を共に創ることにより、障がい者スポーツ及び障がいに対する理解を深め、共生社会の実現を目指す。

実績

○総合型クラブ等における障がい者スポーツプログラムの実施

実施回数：6回（5クラブ）

実施種目：ポッチャ、フライングディスク、ゴールボール、車いすソフトボール等

○障がい者スポーツ推進に係る事業ノウハウの普及啓発及びボランティアの育成のための研修会

障がいのある人となない人が共に楽しむことができるスポーツ教室・イベントに必要なノウハウを学び、事業の支援者（ボランティア等）を育成するセミナーを実施

○障がい者スポーツの理解促進に向けた普及啓発活動

普及啓発チラシ・成果報告リーフレットの作成配布、イベント等において普及啓発用ブースや体験コーナーの設置



担当 スポーツ振興課（徳島県スポーツ協会）

親子ふれあいスイミング及び持久水泳認定会

事業内容

○親子ふれあいスイミング

特別支援学校生や一般の障がい者(児)を対象に、障がいの特性に合わせた、親子で参加できる水泳レッスンを実施

- 【目標】・スポーツセンターの継続的な利用
・親子参加による障がい者(児)のスポーツ施設への移動困難の解消

○持久水泳認定会

障がいの有無に関わらず参加でき、指定された時間内で足をつかず泳ぎ切る（若しくは浮いている）ことを目標とした認定会を開催

- 【目標】・基礎的な体力向上
・達成感や充足感を感じるにより、今後の参加への動機付け
・水泳を通じた、障がいのある人とない人との交流促進

新型コロナウイルス感染症の影響で中止に



今後の予定

○「着衣水泳」体験会

障がいの有無に関わらず親子で参加できる「着衣水泳」の体験会を実施予定
「親子で参加できる」→ 親子ふれあいスイミング
「障がいの有無に関わらず参加できる」→ 持久水泳認定会
の要素を組み合わせた形の取組み
⇒当初計画の目標達成を目指す

担当 岡田企画株式会社

(4) まとめ (課題、今後の取組み予定)

【課題】

- (1) 学校卒業後のスポーツ活動機会の創出・周知
- (2) 障がい者の受入が可能な施設、特に総合型地域スポーツクラブの新規開拓
- (3) 指導員の育成を行っても、その人が所属する施設内だけの活動に留まっている、又は、地域に活動の場が少ない
- (4) コロナの影響によるスポーツ活動機会の減少

【課題解決に向けて】

- (1) 特別支援学校と地域のスポーツクラブの連携強化
地域の障がい者スポーツ活動団体の周知
 - (2) 受入実績のある施設と協力し、新規開拓
受入のハードルについて原因分析
 - (3) 地域内で柔軟に活動できるリーダーの育成
 - (4) ICT等を活用したスポーツ活動の実施
- ニーズの掘り起こし→ハード・ソフト面の環境整備

徳島県未来創生文化部ダイバーシティ推進課 担当：田北

TEL:088-621-2783

Mail:diversitysuishinka@pref.tokushima.jp